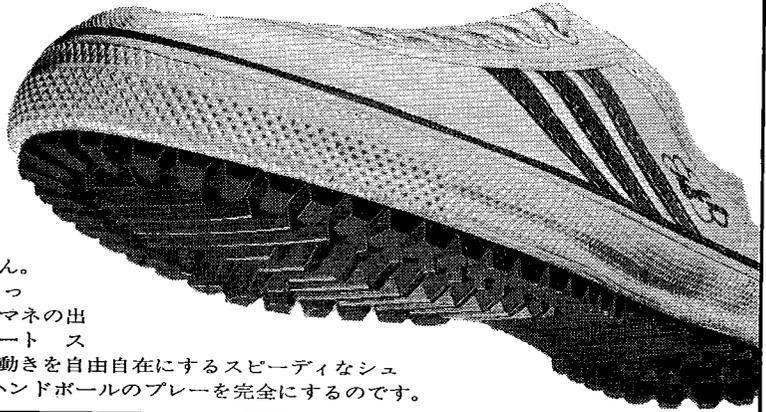


多角的な動きを 軽快に 鋭く……

**Onitsuka
Tiger**

ハンドボール
シューズなら
タイガー印で
す——

ハンドボール専用のシューズといえばタイガー印をおいてほかにありません。軽くて適度な弾力性をもった特殊成型底は、ほかでマネの出来ない《技術》です。スタートストップ、そして多角的な動きを自由自在にするスピーディなシューズ。このシューズがハンドボールのプレーを完全にします。



白地にオリムピックライン ☆22.5~27.0cm ¥1,100

タイガーハンドボールシューズ

オニツカ株式会社 本社/神戸市須磨局寺田町3-1 支店/神戸・大阪・東京

ハイユニは世界ではじめてのマイクロのシンです。三菱鉛筆の85年の歴史と技術がみのり、あらゆるテストに驚くほどよい結果ができました。黒く、濃くきれいに書け、書きべりもしません。発売してから3年—専門家から学童まで多くの人に愛用されています。



ハイユニ

9H・6B・17 硬度/1ケース1200円 1本100円

三菱鉛筆

三菱鉛筆株式会社

「1点」の尊さ、「1点」の重さ、「1点」の悲哀……。

今回ほど1点の貴重さを思い知らされたことはない。

ユーゴからあと1点をとっていたら、いや失点を一つ少くしておけば日本は堂々と世界のベストエイトに進出できたであろう。そしてそのあと、四強へ勝ち残ることも夢ではなかったのだ。

村田弘監督は「1点の不足、気が狂いそうです」と口惜しき苦悩の胸中をこう伝えて来た。

たしかに、日本の悲願は今回の世界選手権（2月26日～3月8日フランス）でも成らなかつた。

ベストエイトの壁は高く厚く日本の前に立ちはだかつてしまつたのである。

しかし、ユーゴとの試合は勝利こそ奪えなかつたが、日本ハンドボール界の明らかな前進を示すものであつた。

3位の實力を誇つたユーゴと引き分けたのだから、と結果論を都合よく受けとるような安易な根拠ではない。

大会前、あらゆる関係者が優勝候補の一角にすぎ、B組からの勝ちあがり、「絶対」のらくく印を捺したユーゴに対して、はつきりと「勝利への策戦」をた

てて臨んだ決意と自信。五角の戦況……。

ベストエイト入りを逃したことで、宿願のミュンヘン・オリンピックが一步遠のいたのではないかという悲観が一部にあるのは大きな間違いである。

日本の成長は、なによりも本場ヨーロッパの關係者を驚かし賞讃のことばが限りなく寄せられた（田村団長の話）。

むしろ、国際ハンドボール界における日本の位置は、今回の代表の活躍—特にユーゴ戦—で高められ、ともすればこれまで、アジアという地域的な特殊性で別格扱いされてきた感じが、今後は実力面でも評価を得ることにならう。大殊勲である。

最大関心事ともいへべき二年後のミュンヘンオリンピック出場問題はどうか。

国際ハンドボール連盟（IHF）は、6月の国際オリンピック委員会（IOC）総会において一九七二年の競技プログラム・要綱が最終的に議決されない限り公式な発表を一切しないと思う。

「ミュンヘン」へ大きな希望 全日本代表の健斗を讃える

今回の上位8ヶ国の出場権獲得もそれまでは「おあずけ」である

消息筋は、ミュンヘンのハンドボールが男子のみ16ヶ国で行われるのは確定的といい、IHF筋も当然その線で総ての計画を進めて

いる。

世界選手権後、情報の収集にあつた田村団長（日本協会々長）

村田監督（日本協会選手強化対策委員長）からの連絡によると、16ヶ国で実施の場合、日本にとつてかなり好条件が示されるだろうということだ。

これは大きい。

これはとりもなおさず、今回の代表チームの健斗によるもので、筆者が「大殊勲」というゆえんもここにある。

世界第10位。ベストエイト入り

りを逸したとはいえ、オリンピックに所期の目的を果したといつてよい。さらに言を進めるならば、ミュンヘン・オリンピックでメダルをも奪える足がかりをつかんだのだ。

白昼夢にさえ等しかつた「世界選手権を我が手に」の野望が、自分たちの努力の範囲で成し遂げられる可能性が生まれでたことはすばらしい。

ユーゴ戦で泣いた「1点」は、日本ハンドボール界の世界最上位に向かうスタートの「点」になつたといえる。

今後はいかにオリンピックでよい成績をあげるかが大課題となる。参加できた」だけでは36年ぶりに迎えたチャンスを活かすことにはなるまい。

頂点強化にあたる指導者や選手の協進もさることながら、国内の協力体制も不可欠の条件だ。

「ミュンヘン」へ。「世界」へ。ムードづくりから勝利への希望の灯を今回の代表はともしてくれたのである。

IOC総会の終らぬ現在、楽観は許されぬが、少くとも日本の成長が理論家、ウルサ型の多いIHFの技術委員会認められたこ

（S）

「ハンドボール」

4月号（第74号）目次

—世界選手権特集①—

「ミュンヘン」へ大きな希望……………(1)

世界選手権全成績……………(2)

予選リーグB組……………(4)

日本—ユーゴ戦観戦記……………(9)

湧永儀助……………(9)

9位決定リーグ戦……………(10)

ベストエイト・トーナメント……………(10)

予選リーグA組……………(12)

予選リーグC組……………(18)

予選リーグD組……………(20)

国際親善試合……………(22)

デンマーク・西ドイツ……………(24)

オランダ・イタリア・イスラエル……………(24)

オリンピック出場問題……………(26)

「全自衛隊連盟」発足……………(28)

登録規定決まる……………(30)

各地の記録……………(31)

編集後記……………(32)

表紙 第7回世界選手権大会日本—アメリカ戦（於パリ、3月1日）

時事通信社提供



ルーマニア二度目の優勝飾る

躍進・東ドイツは延長戦の末準優勝

健斗の日本、10位にくいこむ

二月二六日から三月八日まで、フランス各地で行なわれた第7回男子7人制ハンドボール選手権大会はルーマニアの一九六一年、一九六四年の優勝に続いて、三度めの優勝で幕を閉じた。

本大会予選はフランス各地において二月二六、二八日、三月一日の三日間行なわれ、4グループとも激戦が続いたが、結局、ルーマニア東ドイツ、ユーゴ、デンマー

ク、西ドイツ、スウェーデン、チエコ、ハンガリーの八ヶ国が決勝トーナメントに進んだ。

日本三位のユーゴと

引き分けの大激戦

一方、強化に努めた日本は予選リーグB組に出場、前回優勝のチエコには破れたが今大会三位のユーゴと大激戦を展開し引き分ける

大活躍をし、世界のハンドボール界の大きな話題となった。残念ながら、勝ち点では3位のユーゴと同率の3点をあげながら、得失点差の関係で、ユーゴを下廻り悲願の決勝リーグ進出はならなかった。しかし、9、12決定リーグでは、大敵ソ連には破れはしたが1961年度に行なわれた第四回大会の6位、8位であるアイスランド、フランスを連破し、よく10

位の成績をあげることができた。この大会で、従来とても日本が歯がたたないとされてきたヨーロッパの一流の諸国と対等に試合できる実力が備ってきたことが、はっきりと示された。前回、前々回は善戦するのがせいっぱいであったが、今回は明らかに勝てるどころにまで実力をつけてきたことを世界のハンドボール界にはっきりと印象つけた。

第7回世界男子7人制選手権成績表

▼決勝

ルーマニア 13—12 東ドイツ

▼3.4位決定戦

ユーゴ 29—12 デンマーク

▼5.6位決定戦

西ドイツ 15—14 スウェーデン

▼7.8位決定戦

チェコ 21—14 ハンガリー

▼9~12位決定リーグ

	勝	分	負	得	失
⑨ ソビエト	3	0	0	72	41
⑩ 日本	2	0	1	54	60
⑪ アイスランド	1	0	2	53	56
⑫ フランス	0	0	3	44	66

大激戦のA組、3者が2勝

予選リーグ成績

▼A組	勝	分	負	得	失
①スウェーデン	2	0	1	30	27
②東ドイツ	2	0	1	32	30
③ソビエト	2	0	1	33	33
④ノルウェー	0	0	3	23	28
▼B組	勝	分	負	得	失
①チエコ	3	0	0	58	33
②ユーゴ	1	1	1	66	41
③日本	1	1	1	47	51
④アメリカ	0	0	3	32	78
▼C組	勝	分	負	得	失
①西ドイツ	3	0	0	41	36
②ルーマニア	2	0	1	48	31
③フランス	1	0	2	36	39
④スイス	0	0	3	29	48
▼D組	勝	分	負	得	失
①ハンガリー	3	0	0	58	37
②デンマーク	2	0	1	61	53
③アイスランド	1	0	2	43	56
④ポーランド	0	0	3	43	59

世界男子7人制歴代順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
①1938年	ドイツ	オーストリア	スウェーデン	デンマーク	(参加4ヶ国)			
②1954年	スウェーデン	西ドイツ	チェコ	スイス	デンマーク	フランス	(参加6ヶ国)	
③1958年	スウェーデン	チェコ	ドイツ(東西)	デンマーク	ポーランド	ノルウェー	ハンガリー	ユーゴ
④1961年	ルーマニア	チェコ	スウェーデン	ドイツ(東西)	デンマーク	アイスランド	ノルウェー	フランス
⑤1964年	ルーマニア	スウェーデン	チェコ	西ドイツ	ソビエト	ユーゴ	デンマーク	ハンガリー
⑥1967年	チェコ	デンマーク	ルーマニア	ソビエト	スウェーデン	西ドイツ	ユーゴ	ハンガリー
⑦1970年	ルーマニア	東ドイツ	ユーゴ	デンマーク	西ドイツ	スウェーデン	チェコ	ハンガリー

ミュンヘンまで残された二年間に、この対等に近いところまできた力を、ヨーロッパ一流国よりも上の力にすることが、今後の大きな課題となる。とにかく、一流国に勝つことは夢でなく、現実のものになっている。

成績のみから云えば、第五回大会、第六回大会の予選リーグの優勝二敗が一勝一分一敗になっただけであるが、内容的に見れば、格段の進歩が見られる。

第五回大会では、3回の予選リーグで総得点40、総失点90と得失点差マイナス50、第6回大会では総得点68、総失点89で得失点差マイナス21と得失点差では、大きなマイナスとなっていたが、今回は総得点47、総失点51になり、得失

点差はマイナス4とほぼ得失点はバランスをとれるようになった。総失点が前回、前々回と比べ、約40点へったことは、今大会の前に重点的に行なった防御力の向上の成果があらわれたものと云える。

今回の4グループに別れた予選での総得点で日本は47点で6番目、総失点では少ないほうから12番目となった。各グループ毎に所属しているチームが違うのであるからこれを比較すること自体ナンセンスかもしれないが、一つの傾向を知ることはできよう。

以上のように、今回のチームは技群の向上を示していることは数字の上から、はつきりしている。なお、余談になるが今大会の個人別得点の1位は31点をマーク

したマキシモフ(ソビエト)、日本選手は飯田(21点)が7位、木野(20点)が8位だった。

1〜4位はすべて予選リーグの二位チーム

あるかが判らう。ここらに伝統のあるチーム。それに支えられた自信の有無といったものが大きく勝敗を左右する条件になってくる。

今大会の焦点となったのは、東ドイツの大活躍である。

前回と前々回は全く不運にも、勝ち点では、十分決勝トーナメントに出る資格を持ちながら、得失点差で破れ、悲運のチームと呼ばれていた。もともと実力はもっていたのだが、東ドイツは男女とも世界選手権ではついていない。女子でも、1965年の第3回大会では、優勝したハンガリーと予選で一勝一敗、得失点差は両チームとも0になり、引き分け、抽選負けをしている。本命視されていた第4回大会は流会。今度やつと男子が準優勝することになった。

日本の今後の課題

今後の日本の飛躍は、なんといっても習慣れと自信、そして何といても図抜けた実力の養成にかかってこよう。第四回大会に初参加してから十余年、回を追ってチーム力は飛躍的に向上していることは明らかである。今回も、世界の壁を半分つき破ることができた。次回は完全に突き破ることだ。その日のために、全ハンドボール界を挙げて、努力していかなくてはならない。その日は必ずく、近い将来に。

いかに各国の実力というものが接近し、その日、あるいはその試合の調子というものが、試合を左右することになるかということを示していよう。

こうした中で、安定して、すべての試合に勝ち抜くことが難事である。

日本選手団
 長 田村正衛 (日本協会々長)
 監督 村田弘 (日本協会選手強)
 コーチ 竹野奉昭 (兼選手)

選手	背番号	身長 (cm)	体重 (kg)	種別	国籍	身長 (cm)	体重 (kg)
GK	①	下里敏彦	184	73	電	184	73
	②	本田洋	178	77	体	178	77
F P	②	飯田誠行	187	77	電	187	77
	③	齊藤光男	183	80	電	183	80
	④	近藤森克彦	182	75	電	182	75
	⑤	木野実	180	75	電	180	75
	⑥	早川清孝	180	70	電	180	70
	⑦	東一敏	180	67	電	180	67
	⑧	藤中憲二	180	71	体	180	71
	⑨	中井武三	180	67	社	180	67
	⑩	江名英彦	177	72	景	177	72
	⑪	竹野奉昭	175	75	電	175	75
	⑬	近藤信行	170	63	電	170	63
	⑭	野田清	169	65	鋼	169	65

○内数字は背番号

《本格派》

デサント

スポーツ服装

●ハンドボール ●ベースボール
●ゴルフ ●スイミング ●スキー

純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない《純競技仕様》……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by

DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

たユーゴは、世界の五指に入るア
タッカー・ザグメスター(1m91
88K)をメンバーに復帰させて背
水の陣。

日本も昨夏の自信が全選手の大
きな力となっており意欲にあふれ
た試合前であった。

チェコ戦の敗戦をいかし、失点
を少なくすること—そのためにポ
ディチェックと早い動き、またシ
ューターに対しての詰めなどを充
分に注意した。

攻撃は相手の帰陣をしのごスビ
ード、セットでは長いキープから
絶対的チャンスまで組織力を活か
すこととした。

○……立ちあがりにはユーゴのペー
ス。日本は固くなりすぎ防禦、速
攻にミスがでて6分には1—5と
苦戦。そのあとようやく試合のリ
ズムがもどり徐々に速攻、セット
とも安定、20分7—7とタイに追
いついた。それぞれ相手の様子を
うかがう攻防をくり返ししながら日
本の速攻ミス、シュートミスを活

かしたユーゴは20分すぎの5分間
に2ゴール差(8—10)をつけ、
それが前半の点差へつなげた。

○……後半、日本は前半つながら
なかった攻防両面のフォロ—プ
レーがよくなり果敢にユーゴ陣を
攻めまくったが、要所におかした
シュートミスでどうしても試合の
主導権を手にすることができなか
った。

特に7—7、15—15、16—16と
三たびの同点のあと、日本はいず
れも絶好の勝ち越し機をえながら
それを逸したのは悔み切れない。

28分16—17と窮地に立たされた
が、29分気力の一投がゴールに実
つて引き分けへもちこんだが、ま
つたく惜しい試合を失った。

○……後半は、すべてにユーゴを
上廻り、課題のディフェンスもよ
かっただけに、この引き分けは惜
しまれ、悔やまれる。

しかし、ベテラン近藤が8本の
シュートを失敗したのははじめこ
そぞという時にシュートが決まら

ず、その他にも再三相手GKの好
守にあったのは不運とともに、日
本の攻撃面の新しい課題だといえ
よう。

ユーゴの主軸ザグメスターは意
外にそのプレーに鋭さはなかった
が、強肩を利した強引なプレーは
パワー・ハンドボールの典型とい
えた。

○……それにしてもいかに「1点」
が大切であるか—。

選手の頭の中は失ったワン・ゴ
ール、攻め損じたシュートが魔の
ようにかげめぐった。

日本の全関係者の期待にこたえ
られなかった無念さにむせぶ時、
各国関係者やIFB首脳陣が投げか
けてくれた激戦・善戦への賞讃の
言葉は、冷めたい挨拶にしか聞こ
えなかった。

この一戦のくやしき。次の機会
にはきつとほらすことを新たな決
意とした—。

(注) 個人記録テーブルのうち、
Sはシュート数をあらわす。

日本—ユーゴ	
激しい得点経過	
前半 45秒	①
1分30	②
2分10	③
4分4	④
4分20	⑤
5分40	⑥
8分8	⑦
9分9	⑧
9分35	⑨
10分	⑩
15分40	⑪
16分20	⑫
19分	⑬
20分	⑭
21分40	⑮
24分	⑯
24分15	⑰
25分	⑱
後半 1分	⑲
3分50	⑳
10分05	㉑
11分	㉒
14分	㉓
15分	㉔
18分15	㉕
19分	㉖
20分	㉗
20分20	㉘
21分	㉙
22分	㉚
25分40	㉛
26分15	㉜
27分50	㉝
28分40	㉞

17(引き分け)17

アメリカから1勝 あげる

第3戦・アメリカとの試合は3
月1日午後3時30分からツール
ズに千七百の観衆を集めて行われ
た。

日本は立ちあがりこそ接戦した
が次第に多彩な攻撃をやらせ試合
の主導権を握って危気なく勝った

日	本	ア
得00	21	11
0011	110	17
1130	11	8
4212	15	15
0421		
2011		
1201		
01		
【ア		
【エ		
【B		
【ネ		
【ト		
【ユ		
【ポ		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ク		
【シ		
【ホ		
【ル		
【デ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【カ		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		
【イ		
【ン		
【ク		
【セ		
【イ		
【リ		
【ン		
【ク		
【セ		
【ン		
【バ		
【マ		
【K		
【ダ		
【ラ		
【ウ		
【ラ		
【ウ		
【カ		
【バ		
【テ		
【イ		
【テ		
【ン		
【ツ		

予選リーグB組 その他の試合

ユーゴ 34 (1915 | 5 | 3) 8 アメリカ

2月26日・アングレーム、観衆 千二百

○……ユーゴは立ちあがりから余裕のある試合ぶり、14分には4-0とした。

アメリカもディフェンスが立ちあおるとともにネイラー、ブラスが巧くチャンスをつかんで2-1-4としたが、そのあとユーゴはボクラク、ラザレビクらが一気の速攻を連続させて点差を開き、前半で大勢が決した。

後半もユーゴの一方的な試合。アメリカはまったく手も足も出さずユーゴは、エース・ザグメスターをベンチへさげるなど圧倒の試合ぶりだった。

▽主な得点者(ユーゴ) ボクラヤク5、ラザレビク8、ルブルニク5、ミルコビク5、カラリク4、ブガルスキー4
【アメリカ】 ネイラー2、ブラス2、K・セウテ2

チェコもアメリカに楽勝

チェコ 23 (1013 | 1 | 5) 9 アメリカ

2月28日、アジエン、観衆二千二百

○……ただでさえ力が違うところへチェコはベストメンバードでスタート。チェコにとっては、調整の役割をはたすような試合であった。

チェコの多彩な個人技とチームプレーは前半15分で勝負のメドをつけてしまった。

アメリカは35才のベテラン・ユラクを軸に懸命な試合ぶりだったがスピード、テクニクともみお

1点争う白熱の攻防を展開

チェコ、B組で全勝飾る

チェコ 16 (8 | 12 | 8 | 3) 15 ユーゴ

3月1日、ツールルーズ 観衆千七百

○……ともに第一の目標ベストエイト入りを決定つけ余裕があったユーゴは立ちあがり好調にチェコを攻めつけ5分3-1とリード

そのままのペースで前半を終えたところが後半になるとチェコはガラリと戦法を変え、若手をしきりに送って彼らの強引なシュートでゴールを奪った。

ユーゴのディフェンスが組織的な動きを欠いたわずかなスキを逃さずチェコは次第に点差をつめるとともに、GKアーノストが本領を発揮、ユーゴの強シュートをことごとくさばいて13分間、ユーゴ

とりがし、しかも攻撃法が単調すぎた。

チェコは、マレスの華やかなフエイントプレーと、左腕ブルーナの鋭いシュートなどでしばしば、見せ場をつくった。

▽主な得点者(チェコ) ブルーナ6、ズーダ4、クラナト3、ベネス3、クリムシク3
【アメリカ】 バルクホルツ6、ネイラー3

を無得点におさえたのは鮮やかであった。調子にのったチェコは15分までに連続6ゴール。14-12と逆転してしまった。ユーゴが焦って退場者を出した時、左腕・ブルーナをすかさず起用、1点をあげ

るなど王者にふさわしい試合運び(ベンチワーク)もみごと。

ブルーナはアキレス踵を痛め最近2年間に2回も手術、昨年11月からトレーニングをはじめ、カムバックした選手だ。

終盤になってユーゴも調子をとりもどし24分15-15。しかしチェコは28分決勝のゴールを決めてユーゴを降した。

○……後半のはじめてこそユーゴの攻防がラフになったが、そのほかはつねに1点をめぐって白熱の攻防がくりひろげられ、激しい防

禦ダイナミックな攻撃、執念の強さなどすべてが勉強になった。

それに両国とも選手層が厚い。メンバートエンジしてもチームとしての組織・力が少しも乱れない

予選リーグ最後を飾るにふさわしい力のもった好試合だった。

▽主な得点者(チェコ) コネクニイ4、ベネス3 ハブリク3
【ユーゴ】 ザグメスター5、ボラク3

○……B組出場国メンバード……
【チェコ】▽GKアーノスト、スカルバン▽FPクリムシク、マレス、ルコシク、カパン。ハブリクホルバス、ヘルマン、ベネス、クラナト、ズーダ、ブルーナ、コネクニイ、サトラバ、サツサク

【ユーゴ】▽GKコステイク、アルスラナジク、メルバル▽FPプリバニク、ザグメスター、ポボビク、ホルバルト、ラブルニク、ボクラヤク、カラリク、ミルコビク、ブガルスキー、ラザレビク、ヤクセコビツク クルステイク、フアフリク

【アメリカ】▽GKエデス、ゲルレイ、B・セウテ▽FPバークホルツ、ドレック、ダンカン、ジュラク、ラバルベラ、マツカルディ、ネイラー、ボンシク、K・セウテ、サリン、トリンクス、ウイツカート、ウイツテイ

シカゴ・リーフ社との技術提携から

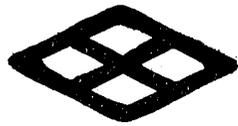
生まれたユニークなチューインガム

カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井 1-2-3

《K&Lのガム》

- ミント・カット・ガム
- オレンジ・カット・ガム
- チェリー・カット・ガム
- レモン・カット・ガム
- ジュエル・カットガム

合織糸・合織混紡糸



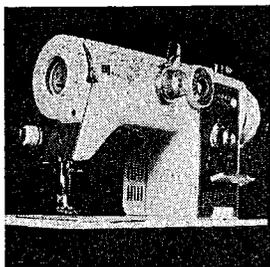
田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17

TEL 四日市 6-2156 (代表)

郵便番号 512



鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髄がある

■シューキミンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

シューキ

東京重機工業株式会社

日本のハンドボールマンが、ミ
ンヘン・オリンピックに夢をつ
ないで、心から送った世界選手権
結果は全日本チームの善戦も
空しく10位という成績に終わりは
したが、予選リーグで日本が引き
つけたユーゴが、三位に入ると
いうお添えものもあつた。スポ
ツに三段論法は成り立ちほし
が、日本のハンドボールもりっ
に世界に通用することだけは、
っさりした。ちょうど選手権の
欧米視察のため、在パリ中だ
ワクナガ薬品KK専務取締役湧
儀助氏からそのユーゴ戦の観戦
がとどけられた。観客席からの
ユーゴ戦見たままをお伝えしよ
う。

○…………○

週末を利用して対ユーゴ戦を
観戦するため私は二十八日朝、
戦地アゼンに向け出発した。ア
ゼンはワインの産地として知ら
れるフランス・ポルドー地方に
ポルドー駅から急行で約一時間
農産物の集荷地としてもちよ
知られたところらしい。人口は
三万とこののだが、ゆうに十
を越すかと思われほど大きな
に見えた。活況のせいだろうか。
試合はアゼン市の中央部にある
体育館で行なわれた。観客はほ
九分の入りだったが、前の試合
チェコ対アメリカ戦が内容に乏
かったせいも、失望の色が濃
うに見うけられた。その半面、次

日本対ユーゴ観戦記

遅かった日本の反撃

延長戦があれば勝てた!!

アゼン
湧永儀助

ぎの日本対ユーゴ戦に大きな期
待を寄せていたようだ。しかし
下馬評は七分三分、あるいは八分
二分でユーゴ優勢に固まり日本に
とって面白くない前景気ではあ
た。それを裏付けるかのように試
合前の練習でもユーゴの圧倒的な
雰囲気が大よ、比較にならない
い長身から豪快にくり出すシュ
トはゴールに当たって20メート
ル以上もある天井にはね返えるほ
ど。私は勝敗は別として日本チ
ームの

健斗を心から念じた。

観衆は日本チームに大きなそし
て暖かい声援を惜しまず、特に小
さい野田君に人気が集まっていた
試合は日本のスローオフで始ま
った。日本はよくボールをまわし

最初のシュートは木野君が打った
がカットされ、逆襲にあつて簡単
に1点を先取された。その後連続
4点をとられ4対0となつたとき
はすでに万事休すかと思われたが
7〜8分ごろ飯田君が価千金のミ

ドルシュートを決め4-1。野田
君は再三、右サイドからの倒れ込
みシュートを試みるが、相手が知
っているせいかほとんど満足な状
態でシュートできない。しかしユ
ーゴも4点を先取した安心感から
か、あるいはこの前の遠征のとき
日本に引き分けている不安感から
か動きがスムーズでなく、ただ力
に頼ったフォーメーションを繰り
返すだけ。またベンチもリードを
奪っていないがら妙に浮き足だち監

督が立ち上ってしきりに選手にア
ドバイスを与るエキサイトぶりだ
った。ただディフェンスは非常に
堅固で長身を利した強固な防御は
威圧が感じられた。またレフェリ
ーのジャッジにしてもブツン
やホールディングに対しては非常
に厳しい半面、体ごとぶつかるデ
ィフェンスには寛大であるため、
体格差を利したユーゴのディフェ
ンスは効果的だった。しかもチャ
ージングはほとんど反則としてと

られぬため、体格的にハンデー
のある日本チームは苦戦を強い
られたといえる。それでも日本は1
点差まで追い上げ、下里君に変わ
ったゴールキーパー本田君の活躍
に観客は大声援を送り、試合はに
わかに盛り上がった。ユーゴは
はさかんにメンバーステッチを繰
り返し、ポポビクのポストプレー
ミルコビクのパスプレーを中心に
立ち上りの点差を保持したまま
10対8で前半を終わった。

ユーゴのスローオフで始まった
後半も相い変わらず一進一退、日本
の小ささとユーゴの力強さが目立
つ、観客はあらためてユーゴ強し
の感を深めながらも遠来の日本チ
ームに声援を送る。しかし点差は
いっこうに縮まらず、振り出しの
4点差となつたときは、私たちも
観客の間にも悲観の色が濃くな
た。

だが、残り10分頃から日本チ
ームはにわかに活気づいてきた。選
手たちの動きが機敏になり、木野
君のパスがよく通り、野田君のシ
ュートが決まりはじめ、近藤君に
代わった東君の強引なプレーがし
ばしば成功して日本はじりじりと
追い上げていった。この日本の上
げ潮ムードに観客は大喜び、そし
てついに残り5分で1点差まで追
い上げた。

こうなると完全に日本のペース
だ。ユーゴは選手もベンチもすっ
かり冷静さを失い、監督がコート
の片隅にまで出て、しまいに選手
を激励する始末。こうしたあせり
がまた反則を誘発、残り1分で日
本は7メートルスローを得た。近
藤君が揮身の力を込めて打ったポ
ールはゴールをかすめてゴールイ
ン。ついに同点。すっかり熱狂し
た大観衆とともに私も劇的な日本
の逆転を信じた。追う者追われる
者、ユーゴの追いつめられた気持
ちがありありとうかがわれる。も
はや時間はない。

日本、ソビエトとの9位争いに敗れる

予選リーグ各組3位の4ヶ国による9～12位決定リーグは3月3、4、6の3日間パリのハンドボール・パレスを主会場に行われた。

このリーグに出場したのは日本のほかソビエト、アイスランド、フランス。
大会前、優勝候補の一つに数えられていたソビエトがベストエイト入りを逸しての登場は大きな話題となった。試合は予想どおり有力とみられた日本とソビエトが、ともにアイスランド、フランスから勝ち星をあげ最終戦で9位をかけた対戦、日本は立ちあがり2点を先取したが、長身のソビエトにすぐ逆転され敗れた。日本はこれで10位に決まった。

9～12位決定リーグ戦

○……ベストエイト入りを逸したとはいえ各国は、9位に新しいファイトをもやしてパリに集結した。パリ郊外といってもホテルからバスで2時間のところしかも館内の照明度が低くやりにくかったアイスランドは1m90以上の選手が4人。中でもスババルソンは1m98、91Kという大会の最長身選手。

得点	0	0	1	0	5	1	1	1	5	2	2	1
【日本】	田里	田森	野川	東	中田	井名	野	藤	野	中	江	竹
【ソビエト】	飯	近	木	早	藤	野	中	江	竹	藤	野	中
【アイスランド】	ス	ラ	ン	ソ	ン	ソ	ン	ソ	ン	ソ	ン	ソ
【フランス】	フ	エ	ス	ブ	マ	シ	ン	オ	イ	ハ	ス	ア
GK												
FP												
後記												
村田 弘												

9位決定リーグ戦第1日は3月3日行われ日本は午後8時30分からパリ市郊外クレでアイスランド(D組3位)と対戦した。観衆二千。

日本、たえず先行して制勝 スピードに欠けるアイスランド

しかし全般にスピードのあるプレーが少いことが試合前の練習でわかった。

日本はいつものようにディフェンスの強固、激しさを増して失点を少なくすることに注意、特に激しさには、荒さも加味してである。

○……よい意味の荒さ——こうゆう言葉があるかないかは別として——がなければ、ヨーロッパ諸国に對抗はできない。ナショナルチームの勝負への執着はすさまじいばかりである。

攻撃面において日本は、一応どのようなチームに対してでも18〜20点をあげる自信がついて来ている。ポインントはやはり、守りの強さなのだ。

大型選手のジャンプシュートそ

バランスのとれた攻守

会心の試合ぶり示す

9位決定リーグ戦第2日は3月4日パリ・ハンドボールパレスに観衆四千を集めて行われ日本はフランス(C組)と対戦した。

れにアンダーシュートへの詰めも早さもこの試合ではカギとなる。
○……試合開始。なんとアイスランドは小がらな選手でスタートして来た。
日本は速攻、個人のフェイントシュートが実ってたえず主導権を握った。
アイスランドも前半なかばすぎから長身選手を送りこみ、ゴール前の豪放なローリングオフエンスとフリースローからのポイントをとって来た。
日本も木野の絶妙なフットワークからのシュート、野田のプロトンジョンシュートなど多彩な展開を示し観衆の声援も日本に集って好調な試合運びだった。
○……後半2度ほど5点をリードしたが、終盤、少しへばり気味となりディフェンスのフォーメーションが乱れて追いこみがあった。しかし、たえず先行していたため余裕があり、苦しむことはなかった。

守っても攻撃の好調に気をよくし、固い守りと出足のよいつぶしでフランスの攻撃を阻み、かく乱させることができた。
フランスはホームコートだけあって練習量も充分あり、予選リーグでルーマニア、西ドイツを3点差まで追いこんだ自信は相当なものがあったハズだが、ムードの高まりがなくコンピネーションがまったく整っていなかった。
個人技で攻めこみ、時おり強引

得点	0	0	1	1	0	3	1	1	2	1	2	1
【日本】	田里	田森	野名	藤	川	東	藤	野	中	江	竹	斎
【ソビエト】	フ	エ	ス	ブ	マ	シ	ン	オ	イ	ハ	ス	ア
GK												
FP												
後記												
村田 弘												

得003052210031
 ツデンフドグクーーストドン
 イセドホララウーナツマ
 ドールキンーハナミケ
 エラブユーウアユン
 【西ボラフブルムミモナウシフ

GK FP 審・ドレザク(エ)
 ツグエフクトドントフールゼ
 イスセホツルマホガエ
 ドエスグナスオマンンマシ
 リランルツンルンケ
 【東フアラゾロベチラゲゼラロ
 得006151013100

ドイッの選手交替のかんげきをつ
 いて、東ドイッは積極的な防御か
 ら、得点を取り、11-8で前半終
 了。

後半に入ると、西ドイッはラン
 グホフ、ロストをマークする策が
 成功し、点差をつめ、10分には同
 点とした。そのあとルブキングが
 活躍し、一時はリードしたが、逆
 転され、延長に入る。

延長の前半はシュミットとラン
 グホフが各1点。後半ベッツオル
 トが決めた1点が決勝点となった
 (3月3日・オルレアン)

ユーゴ、辛くも逆転勝ち
 ユーゴ 11(5-6)10 ハンガリ
 スタートはユーゴのフォーメー
 ションプレーがきれいに決り、5

18 (5) 7MT (3) 17

得001211211116
 リスポヨシスンガスルモスロ
 ガルザンエロドリカチバ
 ハホスフマバアバタスシコカ
 【ハホスフマバアバタスシコカ

GK FP 審・オプデイル(デン)
 ジルバタニヤリビニキ
 ナスルメルララコバ
 スルメルララコバ
 【アルネザホラボカミポア
 得00312212000

分には3点の先行。しかしハンガ
 リーはしだいにリズムに乗り、13
 分には同点にもちこんだが、ユー
 ゴも2点を加点、その後はハン
 ガリーの速攻を主体とした一方的
 なゲームとなり、前半は6-5。

この間両チームともリズムにのっ
 た攻撃をかりすが両チームゴール
 キーパーのすばらしいプレーにな
 かなか得点できなかった。

後半に入ると、ユーゴは攻め手
 を見つけ、後半9分には同点、ま
 たリードされた後半23分にも9-
 9の同点にもちこんだ。その直後
 にミルコビクでリードを奪ったユ
 ゴは27分にバルガに同点にさ
 れたが、残り2分にラブルニクが

決勝点をあげ辛勝した。予選リ
 グを苦戦の末勝ちぬいたユーゴ
 は準々決勝でもハンガリーに苦し
 み辛くもベスト・フオア入りした
 (3月3日、グルノーブル)

11 (1) 7MT (1) 10

決勝へルーマニアと東独

準 決 勝

東ドイッ 17(9-7)13 ユーゴ
 得001021030100
 ツケクフーナーアドトゼク
 インスホガーマヤフ
 ドラリンマンンツスール
 【東フアラゼチラゲラペロロツ

GK FP 審・ジャメルスタン
 ラルセン(スウ)
 ゴククククククククククク
 ナイニタニヤリビニキ
 ステバメボルララコスベ
 ニルシリグボルララガザ
 【アコプザホラボカミブラ
 得0035100031000

両チームともスタートはやや堅
 くなり、ユーゴが先取点をあげ
 たのは5分であった。すぐに東ド
 イッは追いついた。その後はすべ
 ての面で東ドイッがユーゴを圧倒
 していた。特に17分をすぎると傾
 から、東ドイッのフォーメション

プレーが冴え、点差を拡げた。ユ
 ゴは速攻を主体にして追いか
 け、後半開始早々、ユーゴはプリ
 8-6で前半を終了した。

後半開始早々、ユーゴはプリ
 ニクで1点差に追いあげたが、
 東ドイッは心惜いばかりのフォー

13 (4) 7MT (2) 17

メーションプレーで、得点を重ね
 34分には10-7と開いた。
 ユーゴの活路はザグメスター
 をポイントでできる位置に置き、彼
 にボールを集めることだけになっ
 た。この作戦は前半は功を奏した
 が、後半は得点をとるより反撃の
 チャンスを与えることが多かった
 東ドイッはゆっくりしたペース
 で攻撃し、チャンスを確実にロス
 トとランドにつないで点を重ねる

ユーゴは反撃とザグメスターの7
 MTによって、後半23分に14-12
 と2点差につめるのがせいといっ
 ぱいで東ドイッの洗練されたプレー
 にしてやられた。(3月5日、ポ
 ルドー、観衆二千五百)

アルマーニ 18(9-6)12 デンマー
 得002212832000
 【アキクツアスドアン
 マノン イニイバ
 マイム ルネクドレ
 【ベデサリガグクキモオニゴ
 【ンンンンンンンン
 セセセセセセセ
 ゲンデルドルーデル
 マンテンンベタデー
 ヌルアーラーイニア
 【KモAガフグベハPG
 得002213231000M

後半開始早々、ユーゴはプリ
 ニクで1点差に追いあげたが、
 東ドイッは心惜いばかりのフォー

後半開始早々、ユーゴはプリ
 ニクで1点差に追いあげたが、
 東ドイッは心惜いばかりのフォー

12 (1) 7MT (0) 18

日本ハンドボール協会検定球



東京

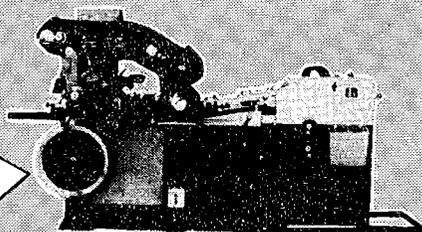
新製品 /

チェコ型

タチカラ株式会社



大阪



高性能機パーフェクトのほかにも
たくさんのすぐれた印刷機材があります

印刷機械

●パーフェクト(全自動B四載凸版印刷機)●各種断裁機

材料

●引戸式ケース馬●スチール製和文植字台●パテントゲラ棚…など多種

母型 活字 写真製版



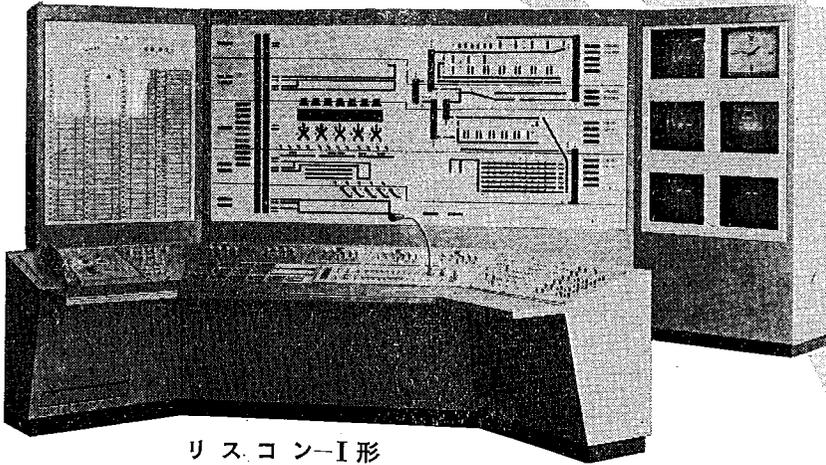
千代田印刷機製造株式会社

本社	東京都千代田区神田猿樂町1の4	電話 (03)(292)2011代~8
横浜支社	横浜市西区高島2丁目10番20号	電話(045)(441)6782代~4
福岡支社	福岡市御供所町3番36号	電話(092)(28)3960・0153
千葉支社	千葉市市場通り122	電話(0472)(27)6463・(22)3979
立川工場	昭島市東町1丁目1番5号	電話 (0425)(23)3471~3
九州工場	佐賀県小城郡牛津町	電話 (95207)0072

Osaki

營業品目

普通電力	量計	電流	制限器
精密電力	量計	配線	用しや断器
誘導形自動	電圧調整器	配電盤・分電盤	制御器
静止形自動	電圧調整器	試験用変圧器	断器
配電線事故	捜査器	各種開閉器・しや断器	
需要電力	量遠測定装置	数字式テレメーター・データロガー	
電力需給	用計器	標準用計器用変成器	



リスコン-I形



大崎電気工業株式会社

本社及び	141 東京都品川区東五反田2の2の7	電話 (03)443-7171(大代表)
五反田工場	電信略号 シナガワ」デンキ	
蒲田工場	144 東京都大田区多摩川2の8の1	電話 (03)759-6511(代表)
埼玉工場	354 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保	電話 (0492) 61-1205(代表)

ソ連、決勝リーグ進出ならず

予選リーグA組

予選Aグループは東ドイツ、ソ連の決勝進出が確実視されていたが、東ドイツがスウェーデンに破れるという番狂わせがあり、スウェーデン、東ドイツ、ソ連がいずれも二勝一敗、勝ち点4となったが、ノルウェーに辛勝したソ連が得失点差でも一番劣り、ついに決勝進出がならないという大番狂わせがおこった。

これは、日本・ユーゴの引き分け試合とともに、本大会の予選リーグ最大の話題となった。ヨーロッパ各紙もソ連破るとして、センセーショナルな見出しをたてていた。

スウェーデン実力差で押しきる

スウェーデン 8(5-2)6 ノルウェー 3(1-4)1

2月26日、キンパー、観衆一千五百

今シーズン、古豪スウェーデンに1勝をあげ、いきのあがっているノルウェーは試合前から、スウェーデンを破らんものとのファイト満々試合に臨んだ。試合開始後スウェーデンは快調に得点を重ね

10分には3-0と開き、順調な試合ぶりであった。一方のノルウェーは調子がでず前半は僅か2点

後半開始後、ノルウェーは調子づき、すばやい動きでスウェーデンを押しした。この時得た2本の7MTもカベレンが決め、一時は5-5の同点に追いついた。しかし、スウェーデンは7-6と優位はたち、終了直前に見せたノルウェー懸念の押しこみも、終了2分前に、スウェーデンのエース・エリクソンに決められ、2点差となって万事窮した。しかしノルウェーの充実ぶりは予想以上のものがあり、A組には波乱をおこす気配が感じられた。

東ドイツ難敵を破り、まず一勝をあげる

東ドイツ 13(8-6)11 ソ連

2月26日、セント・ナゼール、観衆一千九百四十五

今回の大会の栄冠の行方を左右する一戦。どちらも優勝候補の一角にあげられている両チーム。結局、ソ連は前半の不利を後半とにかえすことができなかったのが大きな差となったのだが、なんといっても7MTを確実にもものにできなかったのが、一番の敗因と

なった。昨今の試合では7MTがかなりあり、速攻がさして武器とならなくなっている世界の実状では、7MTをいかに確実に決めるかということがきわめて重要なポイントになっている。

ソビエトもマクシモフの大活躍で良く喰いさがあったが、結局、前半の優位を生かした東ドイツに逃げこまれてしまった。この大会台風の眼になるであろうとされていた東ドイツ、緒戦から目覚ましい活躍を示した。

【主な得点者】▽東ドイツ、ロスト、ベツオルト2、▽ソ連、マクシモフ8、マコリン2

ノルウェー健斗示す

ノルウェー 10(5-4)9 ノルウェー

2月28日、レンヌ、観衆三千七百

ノルウェーはスタートから快調にとびだし、一時は2-1と有位になった。しかし、双方一人ずつの2分退場者をだしている間にソ連に抜かれ、4-3になってしまった。その後のソ連のエース、マクシモフの退場させられた間も、アレクレの一点にとどまった。一方が一点をとれば、とり返すという経過ではあったが、先手は常にソ連がとっており、ノルウェーは有位にたてなかつた。終了4分前に再度の同点になったが、それは東の間、ソ連はクリ

モフの好技から、ソロムコが決勝のゴールをあげ、辛勝した。

ノルウェーの充実ぶりには多くの観衆が眼を見はった。今一步の力があつたならと惜しまれる。

【主な得点者】▽ソ連、マクシモフ5(内7MT3)、クリモフ2、ソロムコ2、▽ノルウェー、グラバー3(内7MT1)

スウェーデン、キーパーの活躍で東ドイツを破る

スウェーデン 11(5-4)9 東ドイツ

2月28日、レンヌ、観衆三千七百

スウェーデンのこの活躍ぶりは驚きであった。いかに伝統の国とは云え、現在の力では、とても東ドイツには勝てないであろうというところが、大分の予想であった。ところが、伝統の力というのは強いこの一勝でソ連の野望は消しとびついに決勝リーグ進出をあきらめさせたという貴重な一勝であった。この一勝の要因は、キーパー・ストロエムの大活躍にあった。前半では、ロスト、ゼンガールの強シュートを防ぎ、チンマーマンの7MTをストップし、東ドイツの得点を4点に押え、味方の有位をあくまで保ち、後半を迎えた。後半に入っても、しばしば自チームの危機をしばしば救った。なかでも、特筆されるのは、9-8

★ 確めてください! MIKASA

HAND BALL

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性——世界に誇るくミカサの価値ある芸術品です!



日本ハンドボール協会検定球

明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡

で迎えた48分に、完全にゴールしたと思われる東ドイツ、ニールンクのフリースローからのシュートをとめたことである。このプレー一つで、スウェーデンは見事にベストエイトに残ったといっても過言ではないフライン・プレーであった。

このストロエムのプレーは東ドイツの動きを萎縮させ、大きな勝因となった。

攻撃陣では、2本の7MTを含む5点を要所々々であげたアンダーソンとベターソンの活躍がめだつた。この一勝でスウェーデンは二日目にして、2勝、得点差ブラス4とまずベストエイト入りをほぼ確実にした。

ソ連ついに及ばず

ソ連 12 (6-5) 11 スウェーデン 6 (6-6) 11 デン

3月1日、ナント、観衆二千八百

ソ連はこの試合どうしても勝ちしかも5点差以上で勝たないと、スウェーデンを上まわることではできないという非常に苦しい立場に追いこまれた。前日までの成績はスウェーデン2勝、得失点差ブラス4ソ連は1勝1敗、得失点マイナスイと、5点の得失点差があるソ連はスタートからフアイトいっばいの攻撃をくりひろげ、マクシモフが先制点をあげたが、スウ

エーデンはすぐに追いつく、またマクシモフ、クリモフであげた得点を追いつき、20分には3-3、前半は6-5でソ連がとる。

後半に入るとスウェーデンはアンダーソン、ベターソンで7-6と逆に有位に、ソ連もすかさず、クリモフで追いつき、7-7、その後、9-9、10-10、11-11と後半に入り、五度めの同点をくり返した後にマクシモフ、クリモフ

の二人であげた貴重な1点でソ連は辛勝したが、次の試合で東ドイツがノルウェーに破れるか引分けるかしない限り、決勝進出は断念せざるを得ないところに追いつめられてしまった。

【主な得点者】▽ソ連、マクシモフ5 (内7MT3)、クリモフ3、▽スウェーデン、ベターソン4、カールソン2、エリクソン2

東ドイツの守備力に勝利

東ドイツ 10 (5-3) 8 ノールウェー 5 (5-5) 8 エー

3月1日、ナント、観衆二千八百

両チームとも堅くなっている。東ドイツはベストエイト入りを、ノールウェーは3位の座を確保し9-12位決定リーグに出ようとの心構えが、東ドイツは勝てば、得失点差の関係で、ベストエイト入りが決定する。ここ数度悲運のチームと云われ、予選リーグで常に

貧乏くじを引きつづけた東ドイツがベストエイト入りできるかどうかに大きな興味がかかっていた。先取点はノールウェーのアンクレー東ドイツもすぐにロストで追いかける。3-3の同点のあとロストとベストホルトであげた2点の有利を東ドイツがもって前半終了。

後半、ノールウェーがおいかけ5-5の同点にしたが、ここまでがせいっぱい。東ドイツはその後連続得点を重ね、一気に10-6とつきはなした。ノールウェーも良く追ったが、堅い東ドイツの守備陣の前に破れ云った。

東ドイツの勝因の勝因の第一は堅い守備陣にある。

【主な得点者】▽東ドイツ、ベツホルト4、ゼンガー12、ロスト2、▽ノールウェー、アンクレー3 (内7MT1)

☆ ☆

このグループは予想に反し、予選リーグの最激戦区となった。各チームの力が平均し、2点以上離れた試合はひとつもなかった。ノールウェーの成長は話題の一つとなることもソ連の敗退は大ニュースである。ゲッター・ガンシヨを第一戦で負傷欠場させながらの東ドイツは期待にたがわぬ戦いぶりを示し、スウェーデンに不覚の一敗をきつしはしたが、十分に実力のはどを示した。また今予選リーグで得点ももつとも少ない、

防御力が勝った、グループとなった。このグループでは全敗はしたが、ノールウェーが成長株としてクロースアップされたことである

○：A組出場国メンバ... ○

【スウェーデン】▽GKストロエム、トーマスソン、ヨンソン、▽FPコク、D・エリクソン、ヨハンソン、オデイン、L・エリクソン、クジエル、ヤコブソン、H・D・セゲルスタド、ネドバル、カールソン、ダネル、ヤンソン、アンデルセン

【東ドイツ】▽GKフランケ、フリエスタ、アルーゼ、▽FPガンシヨウ、ラングホフ、ゼンガー、チンマーマン、ラケンマシエール、ゲルンホフエール、ラント、ベツホルト、ロスト、ローズ、ルツオナクヤンスホファー、ネイリンド

【ソビエト】別掲(11頁)

【ノールウェー】▽GKキレルド、バイエ、グリベン、▽FPグラベル、バエク、クバルハイム、ウルダル、ハンセン、レイナートセン、ウスバード、ティルダル、グラワン、カブレン、ベルベン、アンクレー、ナブセス

※予選リーグB組は4・5頁参照

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球

三カド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592



2月28日、エプロー、観衆一千八百。

フランスの準決勝進出の夢はついでだ。1970年のこの大会のホスト国として、強化につとめていたフランスではあったが、西ドイツ、ルーマニアに善戦しながら連敗し、ついにベスト・エイト入りは果せなかった。

フランスは1-1の同点から、一時は(6分)2-1とリードしたが、8分に2-2の同点とされた後はついにリードする機会がもてなかった。

西ドイツはスタートこそ不調であったが、しだいに調子をあげ、8分同点にしたあとは着々と得点を重ね、前半終了時には10-6と4点差をつけた。

後半に入り、フランスは一生懸命に追ったが、西ドイツも得点をし、結局3点差以上にはならなかった。

〔主な得点者〕▽西ドイツ、ミューラー4、ルプキング3(内7MT2)、シュミット3、モラー2。▽フランス、アゴーネ2(内7MT1)、ニタ2(内7MT1)、ドルア2、ギャラン2。

フランス、順調に

スイスを破る

3月1日、カエン、観衆三千八百。

フランス 15(8-9) 12 スイス

この試合に9-12位決定戦をかける両チーム。スタートから順調にフランスは加点していき、スイスに同点のチャンスをも全く与えずに押しきった。

この試合に関してはフランスは全く危気のない試合ぶりであった。前の二試合いづれも、後半追いかけて、追いつかなかったフランス。この試合は当初より快調にとぼし前半で4点のリード。

後半に入っても、攻撃の手をゆるめず、43分には5点差をつけた。スイスは後半終了直前5分前からたて続けに4点をあげ、猛烈な追いこみを見せたが及ばなかった。フランスはこの一勝で何とかホスト国としての面目を保った。

〔主な得点者〕▽フランス、M.リキヤール5(内7MT3)、エチベリール3、A.セルネ3、R.リキヤール2、ギャラン2。▽スイス、ノター5(内7MT4)、ギガフ3、

西ドイツ、ルーマニアを破る

西ドイツ 15(9-5) 14 ルーマニア

3月1日、カエン、観衆三千八百。

この大会不調の西ドイツがルーマニアを破った。といっても、両チームとも決勝トーナメント進出は決定しており、この大会の中で

は、一番気の抜くことのできる試合でもあった。

西ドイツは前半有利に戦いを進め、9-5とリード。一方ルーマニアは、後半開始直後に得た7MTを足がかりにして、40分には、10-10の同点にした。この辺のルーマニアの力はさすがと思わせるものがあつた。

その後も一進一退を続け、46分には、12-12、51分には14-14と再三同点にもつれこんだ。

その後両チームともチャンスを逃がし、得点がなかった。

59分に西ドイツには願ってもないチャンスが到来した。7MTである。これをフィンケルマンが見事に決め、そのまま試合は終わった。貴重な一投と云うべきであろう。

この大会不調であった西ドイツの唯一の輝やかしい試合であったもっとも先に述べたように、この試合、ルーマニアにとっては調整のようなもので、もう一つ熱が入らないものであったことも否めない。

× ×

結局Cグループは誠に順当な結果におわった。予想通り、決勝トーナメントに西ドイツ、ルーマニアが進み、3位にホスト国フランス、まさに予想通りの結果となった。話題といえればルーマニアが西ドイツに破れたことだろうが、こ

れとても両チームともピリツとしたものない試合なのだから、どうということもない。ルーマニアというよりはグルイアの活躍が、このグループのみのものであったといえる。

①西ドイツ3勝(41-36)、②ルーマニア2勝1敗(48-31)、以上決勝リーグへ③フランス1勝2敗(36-39)、④スイス3敗(29-48)。

○:C組出場国メンバー:○

〔西ドイツ〕▽GKボデー、ラズゲン、カーター。▽FPウェルツブランド、ブシュエル、フェルドホフ、フィンケルマン、ムンク、ルプキング、モラー、ミューラー、ニューハウス、ロッジ、シュミット、ウェナート。

〔ルーマニア〕▽GKベス、ディンカ、オルバン、▽FP キンドサムンギ、リク、ニカ、ポベスク、ガツ、オテリア、モルドバン、グルイア、マリネスク、ゴラン、グネス、バートロム。

〔フランス〕別掲(11頁)

〔スイス〕▽GKファンク、エイセン、キーネル。▽FPダブス、ブラセール、グルンドマン、ギガスクロン、モレル、メイヤー、モルエル、ノッター、ルドルフ、サンティニーニ、シュウエイングルバー、プラットナー

関東一円をネットする...ワイドサービス

医薬品全般
高級化粧品

株式会社 日進商会

健康から未来をひらく

日進子 本部

デンマーク、ハンガリー

ベストエイト入り

予選リーグD組

もつとも混戦の予想されたグループではあったが、ポーランドが意外に元気がなく、あつさり、デンマーク、ハンガリーがベストエイト入りを果たした。ポーランドは大会前は相当の調子をあげ、アイスランドとともにD組に波乱をまきおこすことが予想されていたが、いざ大会が始まると伝統の力に氣押されてか、全く振わず、敗退してしまった。予選リーグの間はハンガリーがきわめて快調にとぼして、一位で決勝トーナメントに進出を決めた。

デンマークが楽勝

デンマーク 23 (1310-1106) 16 ポーランド

2月26日、ロンググウィー、観衆一千八百

今シーズン成長が伝えられていたポーランド、大会前の各種の大会では好成績をあげていたが、本大会になると、スタートが大きくものを云う。とくにDグループのような波乱含みのところではなおさらである。

2月26日、ムルハウゼ、観衆三千
成長が伝えられるアイスランドはこの試合どのような成果を示すかに興味は集った。

ポーランドのスタートは決して悪くはなかった。前半は五回同点にし、よくデンマークを追っていたが、前半中途から、デンマークの攻撃が正確にきまり、それに反し、ポーランドの調子はくたたりはじめた。それになお拍車をかけたのが、20分を過ぎてからデンマークに与えられた7MTである。これをデンマークは決め、自軍を優位に導いた。

後半に入るとデンマークは増々快調にグラバーセンとベターセンが決め、点を加えた。一方、ポーランドは前半の不調から抜けられず、得点をかえしたが、かえって点差は広がるばかりであった。

デンマークはこの一勝で調子づき、逆にポーランドは予選リーグ中調子が出ずに消え去った。

【主な得点者】▽デンマーク、グラバーセン11 (内7MT5)、ベターセン4
▽ポーランド、レウユ4、スツオルス3、ザワデ3 (内7MT2)メンガー3

ハンガリー前半で
勝負を決める

ハンガリー 19 (109-106) 9 アイスランド

2月28日、ハゴダンジエ、観衆一千二百
スタートはデンマークの楽勝を

2月26日、ムルハウゼ、観衆三千
成長が伝えられるアイスランドはこの試合どのような成果を示すかに興味は集った。

スタートは互格であったが、15分を過ぎるころから、ハンガリーの精密多彩な攻撃が繰りはじめ、一方的な経過となった。

それまでは、ハンガリーはいたずらにボールを廻すだけで、何らそれらしい攻撃をしかけることができなかった。

しかし、ハンガリーの正確な機械が回転しだしてからは早く、前半は9-3と一方的な試合になった。

後半、アイスランドは反撃を試み、この試みはやや成功はするがハンガリーは名手マロシをもち、その多彩なリードで増々点差を拡げ、危気なく大差をつけてしまった。

【主な得点者】▽ハンガリー、タカクス4、カロ3、バルガ3、バス3
▽アイスランド、オスカルソン3
ハルスタインソン2

デンマーク2勝あける

デンマーク 19 (109-106) 13 アイスランド

2月28日、ハゴダンジエ、観衆一千二百
スタートはデンマークの楽勝を

思わせた。7分には、4-1、23分には8-3と点差を開き、デンマークが大勝する試合運びとなった。

ところが、アイスランドは超サイドから、シュートをうち、これがヨルゲルセンに対して、良く決った。点差は縮まる。デンマークはいささか慌て、驚いた。しかしそこは古豪・デンマーク、すぐに守備をたてなおし、攻撃も、ベターセンが良く決め、ピンチを脱つし、そのまま押しじり、2勝をあげた。

慌てながらも、良く体制をたてなおし、勝利を握るといえるのはやはり、伝統の力によるものである。デンマークは2勝をあげ、ベストエイト入りを確実にした。

【主な得点者】▽デンマーク、グラバーセン6 (内7MT3)、ハイデアン5、J.ペーターセン4、A・アンデルセン3、ニールセン3
▽アイスランド、ハルスタインソン5、0・ヨンソン3、J・マダヌソン3 (内7MT2)、スババルソン2

ハンガリー後半に力つく

ハンガリー 15 (114-111) 9 ポーランド

2月28日、ストラスプール、観衆一千

最終的には6点の差がついたがハンガリーにとっては薄水を踏む思いの勝利であった。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!

サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (34)2979・1016

望月運動用品KK
東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622)0746

前半は調子がでず、互いに点の
とれない試合で、4-4で終る。
後半に入っても、どちらかが1点
とればすぐに追いつくという経過
で時がすぎ、49分には、9-9こ
れを境にポーランドの得点がピタ
リととまったのになし、ハンガリ
ーは盛んに得点をとりはじめ、
10分間に6点という得点をたたき
だした。

ポーランドの善戦は守備陣がよ
かったこと、特に1M96の身長
をもつGK・スジムカジクがハン
ガリーのシュートをよく防いだこ
とにあるが、それを上廻る動きを
し、ハンガリーに勝利をもたらし
たのはマロシの動きである。彼の
作り出したチャンスでハンガリー
は勝利を握った。ハンガリーチー
ムのなかでかわだつた動きをする
だけでなく、今大会を通じての彼
の動きは第一級の絶品であった。
〔主な得点者〕▽ハンガリー、カ
ロ2、バス2、シモ3、タカクス
3、ステイラー2

▽ポーランド、メルサー2、レン
ユ2
アイスランド作戦勝ち
アイスランド 21 (14-9) 18 ポーラン
ド 7-9 (7-9) 18
3月1日、メッツ、観衆二千五
百
アイスランドは三位の座を作戦
にかけた。どちらも二敗すつして

決勝トーナメントには出られない
ことになっている。
アイスランドは前半、ポーラン
ドの得意のフオーメーションプレ
ーをつぶす作戦に、これが図に当
り、多くのポーランドの守備の破
綻を作りだすことができ、このス
キから、14点をもぎとった。

後半、ポーランドはこれに気づ
き、守備体形を整えたが、すでに
遅く、ポーランドは作戦負けをし
てしまった。
これは問題なく、アイスランド
の作戦勝ちと云える。
期待されながら、ポーランドは
ついに9-12位決定戦にも姿を見
せず、消えることになった。
〔主な得点者〕▽アイスランド、バ
ルスタインソン5、O・ヨソソ
4、J・マグスソン4 (内7MT
1)

ハンガリーはマロシに
よって大量得点に
ハンガリー 24 (11-13) 19 デンマー
ク 11-11 (11-11) 19
3月1日、メッツ、観衆二千五
百
両チームとも決勝トーナメント
進出は28日に失っており、すこぶ
る楽な戦い。デンマークは決勝ト
ーナメントに備えて、他のグルー

プのてい察に、守備の要GK・ヨ
ルゲッセン、攻撃の中心、J・ペ
ーターセン、ハイデマンの3人を
派遣している。

良くいえば用意周到、悪くいえ
ば、この試合を捨てるという形で
ある。これは西ドイツ・ルーマニ
ア戦にも見られた。
20分までは、一進一退で7-7
の同点、このあとハンガリーは例
によって、マロシからの攻撃が火
を吹き、またたく間に6点連取し
29分には13-7と差をつけた。
後半も同様な一進一退であった
が、ハンガリーはベンチにいたメ
ンバーを次々に繰りだして試合を
をさせてみるという全く、どうで
も良いような形の試合になってし
まった。

〔主な得点者〕▽ハンガリー、コ
バクス5、カロ4、マロシ4、タ
カクス4、バセ4
▽デンマーク、M・ニールセン6
P・ニールセン3 (内7MT2)
ルンド3
☆ ☆
結局、伝統のつた二チームが
混戦をきりぬけた形になったが、
第一試合の結果次第では、どのよ
うに変わってきたかは全く予断を許
さない。実力的にみた最激戦区も
結果は一見順当におわったとい
うところ。

③アイスランド1勝2敗(43-56)
④ポーランド3敗(43-59)

○…D組出場国メンバー…○
〔ハンガリー〕▽GKスザボ、ホ
ルバス、バルダロス ▽FFPコバ
クス、カロ、フエンヨ、マロシ、
S・バス、シモ、アドリヤン、ス
ザボ、バルガ、タカクス、ステイ
レル、クシク、K・バス
〔デンマーク〕▽GK K・ヨルゲ
ンセン、モルテンセン、L・ピー
ターセン ▽FFP A・アンデル
セン、G・アンデルセン、K・ア
ンデルセン、ガルド、フランドセ
ン、グラベルセン、ヘイドマン、
B・ヨルゲンセン、ルンド、P・
ニールセン、J・ペーターセン、
スブンドセン、ニールセン
〔アイスランド〕別掲(11頁)
〔ポーランド〕▽GKコワルクジ
ク、スジイブカ、スジムカジク
▽FFP スゾルク、ザワダ、ノワ
コウスキー、メルセル、ピーカレ
ク、レク、クチャター、ピオトロウ
スキー、プニオシンスキー、ザワ
ジンスキー、デイボル、ドゼーラ
ソコロウスキー、

本誌ではミュンヘン・オリン
ピックを控え、各国の戦力など
をつぶさにお伝えするため今月
号(74号)、来月号(75号)を「
第7回世界男子7人制選手権特
集号」といたします。

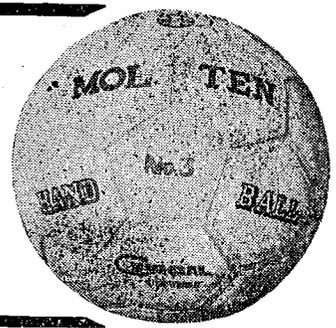
日本ハンドボール協会検定球

モルテン

亀甲型 ハンドボール



モルテン工業株式会社
広島・東京・大阪



合 試 善 親

☆デンマーク 3試合 2分1敗

☆西ドイツ 2試合 2勝

☆オランダ 3試合 3勝

☆イタリヤ 1試合 1勝

☆イスラエル 2試合 1勝1分

デンマーク

ユースナショナルと引き分く
遠征第1戦は2月16日フレデリ
シアでデンマークユースナショナ
ルと行われた。(観衆二千)

日 本 17 (107 | 98) 17
デンマー
ク・ユ
スナシ
ヨナル

得00000680011110
クンンンンンルン
クセセセセゲラセ
ールルトセウカレ
マトリデンラウレン
ンリデンラウレン
ンリデンラウレン
【アラアベハFPムア
シサソ】
GK
F.P
本里田田藤藤田名野川中
本里田田藤藤田名野川中
得003234130001
日本飯近木 東野江竹早藤

17

17

【後記】離日後20時間とあってコ
ンディションはよくない。
外国チームと久々の対戦とあっ
て相手のリズムをつかめるか心配
されたが滑り出しは好調、7分3
0とした。

しかしその後は思うように加点
できずディフェンスミスから相手
のペースとなり苦戦となったが後
半29分辛くも同点に追いつけた、
体調を考えボール保持時間を長
くし、シュートの確率を狙ったが
GKの美技にあつて7本のノーマ
ークを逸したのがひびいた。

防禦面では相手の強引なポスト
プレーとサイドへの突入に対し当
りが遅く、しかも腕をひっかけた
プレーをすべて7MTにとられた
のも痛かった。実に11本。そのう
ち7本を決められた。

会場はハンドボールコート3面
がとれるすばらしいもの。外気は
マイナス10度、館内10度。(村田)

第2戦も互格に終る

遠征第2戦は2月17日オーハス
のYMCA体育館でKFUM・オ
ーハスと行われた(観衆千五百)

日 本 21 (12 | 10) 21
KFUM
オーハ
ス

得0011404001
MドNエフドヒンルク
Uガレドガルツセダナ
Fタフアンスレルド
クリテンスレリイ
【Kクスカサボエニリデモ】

【後記】KFUMはデンマーク一
部リーグで5年連続準優勝したチ
ーム(注・1位は有名なHG・コ
ペンハーゲン)。主力の5人はい
ずれも18センチ以上だ。
日本はいぜん体調が不十分で特
に疲れが目立つ。目標は20得点。
16失点。
前日わるかった速攻のフォロ
プレー、シュートミスを少なくす
るの二点と、守りではボディ・チ
ェックを強くし、特に相手のポ
ストプレーを阻むよう指示した。
しかしKFUMのポストプレー

17

18

強引なシュートに押さる

遠征第3戦は2月19日ニコピン
グでスタディオ・コペンハーゲ
ンを主力にした地元選抜軍(LF
HF)と行った。(観衆千五百)

日 本 18 (9 | 9) 17
ニコピ
ン

得00044111610
ンルドカレンスン
Fセルドセルセ
H一メル センセル
タ ガス レドセル
ンタ スンゲル
【Lソリキシユロラ】
【Lソリキシユロラ】
GK
F.P
本里田田藤藤田名野川中
本里田田藤藤田名野川中
得006003332000
日本下近江早野木飯藤
斎

17

18

後半3分、相手の反則退場とい
う絶好機にゲットできなかったの
も結果的には一つの敗因となつた
経過は一進一退。いちどは12
10としたが、7MTをふくむ連続
4ゴールされるなどあつて24分13
17と逆転を許した。

25分を過ぎてからは再び日本の
ペースとなり59分17に追いつ
いたが、終了5秒前、強引なシュ
ートを決められ涙をのんだ。

結局は日本選手はまだまだシュ
ート力が弱いという印象でこの面
の強化を痛感した。この日も7M
Tを8本もとられた。デンマーク
3戦で30本の7MTを課せられた
ことになる。審判の判定にも首を
かしげられる面もあったが、いず
れにせよ防禦面での研究課題では
ある。

デンマークでの日程を終えたが途中で2〜3点リードされてもすぐばん回できる力のついでいることと、個々のテクニクも一戦ごとに力強さをましているのはたのしい。(村田)

西ドイツ

ハンブルグから初勝利
遠征第4戦は2月20日ハンブルグのスポーツホールで地元リーグ選抜車を行った。

日 本 13 (7-5) 12 グ選抜
▼その他の出場者【ハンブルグ】F

○……ハンドボール発祥の国を自負するデンマーク。体育館はすべてハンドボール用に細長く設計され、40万人のハンドボール競技者をもつといわれる。正式ライセンス(協会登録者)の数は男子7万、女子4万。
ハンドボール協会の年間予算は邦貨約五千万円。日本協会の5倍で、その半分は国の体育協会。残りは登録・加盟金のほか国内の有料試合の10%を納入させており、国際試合の収益はすべて協会に入るそうだ。
○……日本チームが訪れた時は国内Aリーグ(1部)の最終週だったが、選手権のシステムは

得点	0	0	0	1	1	2	0	2	2	1	1	1	2
ゲート	ケ	ト	ゲ	ヒ	ン	ア	ス	グ	ン	ン	ン	ン	ン
ル	ル	ラ	デ	イ	ー	タ	イ	ー	タ	イ	ー	タ	イ
プ	ン	ン	イ	マ	ン	シ	ン	タ	ン	ン	ン	ン	ン
ン	ペ	フ	イ	ー	パ	ケ	ル	ス	ン	ン	ン	ン	ン
【ハ	コ	レ	ビ	ダ	ラ	ハ	ニ	ロ	バ	エ	グ	コ	コ

【里田 田井森野 野中川藤田】
【下本野中近木 竹藤早近飯】
得点 0 0 2 0 2 2 2 2 0 0 0 0 1 2
P、テスロフ(得1) 【日本】F
P 斎藤(得0) 江名(得2)
【後記】ハンブルグ選抜は一昨年来日したメンバーのうちエントリ

男子がA、B、Cの3クラス。A Bリーグは10チーム総当り、Cリーグは東地区10、西地区10に分けられている。女子はA10、Bが東西各10のリーグ戦。年2回のリーグというからいわゆる2回戦方式1回戦を10〜12月、2回戦を1〜3月に行う。Aリーグの場合1チーム18試合のわけだ。HG・コペンハーゲン・KFUM・オーハス(第2戦で対戦)別掲、IF・ヘルシンガー、スタディオ・コペンハーゲンらが名門としてつねに激しい優勝争いをしていよう

デンマーク球界の実情

だ。○……ジュニアの試合も盛んで国内を6地区に分けてそれぞれリーグを組織、各地区のチャンピオンなど16〜20チームで選手権を争う。
トップレベルは前回の準優勝、今回の4位と世界最上位にあり一九七二年の冬訪日の意向を示している。女子はBクラスらしい。

いれば楽に勝てたと思う。(竹野) チェコ選手が偵察
遠征第5戦は2月22日ブラウンユバイクで警察クラブを行った。(観衆千五百)

日 本	24	(1113)	13	9	22	警察(H)						
得点	0	0	8	1	0	1	2	2	0	2	5	0
N	ル	ヘ	イ	ル	ル	ゼ	ン	ル	ル	ル	ル	ル
ト	ッ	ジ	ネ	ー	ウ	イ	メ	ル	イ	マ	リ	ツ
V	フ	セ	ン	ゴ	ン	フ	ル	ト	イ	イ	エ	レ
【H	ウ	ウ	ソ	ク	グ	ク	ゲ	イ	フ	モ	ヘ	ア

男女とも国際交流は実に活発で、1〜3月に国内リーグと併行して対戦。ちなみに今シーズンの世界選手権前までの国際試合の成績は7勝7敗3分であった。【村田弘】

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン、コロナ、ピックアップ、ライトバン製作



セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号
TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)
加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

余裕のぞかせ3連勝

オランダ

遠征第12戦(帰途第1戦)は3月10日オランダのヘーレンで、オランダナショナルと行った(観衆二千) 日本

18 (12-11) 17

オランダ

得003021541010
ルトルスグトシクトグ
ダゼ
ンールソレババ
ンノバゼ
ラノバゼ
オンインレン
オアルインレン
【ヴノケヤムエカキシルリ

GK FP

【本下飯齋近 江野木早中藤
得003123124010
▼その他の出場者【オランダ】F
Pソングード、ノルバート、メ
ルシヨール(いづれも得0)【日
本】FP近藤(得1)、竹野(得
0)
○……オランダは今回の世界選手
権には出場できなかった。しかし
予選で西ドイツに1分1敗の成績
をおさめたことは関係者に高く評
価されている。10位の日本に善戦
して自分たちの「地位」をはっき
りさせたいところだ。

平均身長一八三、3名のサウス
ーポが主力。立ちあがり日本は相
手のでかたをうかがいながら進行
4日間実戦から遠ざかっていたた
め攻防の歯車がちよっと狂って
たが10分を過ぎてから攻撃のフ
ロープレーがよく速攻にも調子が
でた。

防禦もピストンがきいて順調に
リード。後半、気のゆるみからオ
ランダの積極戦法に追いこまれ28
分には1点差とされたが焦ること
なく逃げこんだ。苦戦の因は帰陣
の遅さであった。今後の課題とい
える。(村田)

オランダの若手をかわす

遠征第13戦・オランダナショ
ナルBとの試合は3月11日エデで行
われた(観衆七百)

日 本 23 (13-10) 17
得0012324450123
【本下 木早齋中飯近藤江近
日本】東 野川藤井田森中名藤
Pソングード、ノルバート、メ
ルシヨール(いづれも得0)【日
本】FP近藤(得1)、竹野(得
0)
○……オランダは今回の世界選手
権には出場できなかった。しかし
予選で西ドイツに1分1敗の成績
をおさめたことは関係者に高く評
価されている。10位の日本に善戦
して自分たちの「地位」をはっき
りさせたいところだ。

【後記】前夜のレセプションが夜
中の一時すぎまでかかり、今日の

試合地までは3時間バスにゆられ
るという日程。しかし悪い条件の
もとでも戦える訓練もナショナル
チームとしては練習の一つだ。

相手チームは若手中心でボール
のキープ力はなかなか、波に乗ら
せる前に先制する策戦でスタート
素早いボール廻しで相手のペー
スを乱し速攻も巧く決まった。
防禦面でもフォロワーがリズムに
のって相手を寄せつけず、わずか
にローリングオフフェンスから左腕
を活かした長身選手のジャンプシ
ョットで失点するにとどめた。

疲れ切っているとはいえず、そう
した条件下で欧州のナショナルチ
ームに勝てるだけのたくましさ
芽生えて来たのは頼むしい(村田)

ナショナルから2勝目

遠征第14戦はオランダナショ
ナルとの2回戦として3月12日ヒル
バーサムで行われた(観衆千五百)

日 本 23 (12-11) 15
得0014211002131
【本下 木早齋中飯近藤江近
日本】東 野川藤井田森中名藤
Pソングード、ノルバート、メ
ルシヨール(いづれも得0)【日
本】FP近藤(得1)、竹野(得
0)
○……オランダは今回の世界選手
権には出場できなかった。しかし
予選で西ドイツに1分1敗の成績
をおさめたことは関係者に高く評
価されている。10位の日本に善戦
して自分たちの「地位」をはっき
りさせたいところだ。

【後記】互いに2試合目とあって
手の内が判っており気分的に楽だ
った。

オランダでハンドボールが行
われたのは45年前。日本と同じ
ように11人制が主体でその球史
をつづて来たが、協会が組織
されたのは意外に遅く一九四二
年(昭17)。
競技人口は現
在五万五千、興
味をひくのは女子がその六割を
占めていることだ。
年少層への普及に力を入れてお
り、その成果として18才以下の
登録者が三万人近い。一九六七

オランダの ハンドボール

【後記】互いに2試合目とあって
手の内が判っており気分的に楽だ
った。
オランダの雪じよくの意気はす
さまじいばかりで激しい斗志でぶ
つかった。
日本も第一戦に苦しめられた左
腕のジャンプシュートをマーク、
その選手への詰め、フォロワー
に相手の速攻に対して早い帰陣を
することをテーマにした。
考えてみれば、全日本の最大課
題である「防禦」は3年前の世界
選手権を終った時点から今日にい
たるまで、我々に常につきまとい
ている「宿命」みたいなものにな
ってしまった。
しかし、今回の経験からいって
も「よい防禦のあるところによい
攻撃がある」ことはまちがいない
試合は、館内が暗く、そのため

年(昭42)ヨーロッパ・ユース
大会を主催し13ヶ国を集めるな
どその活動も国際的である。
協会の年間予算は邦貨五千二
百万円。体協から二千万、国か
ら千八百万、そ
のほかはクラブ
からの登録料で
まかなう。協会には8人の事務
員がおり組織を円滑に動かして
いる。事務員の給料(年間一人
百十万)など協会の事務経費が
予算の五割にあたる。【村田弘】

にGKとディフェンスのタイミン
グが合わず前半20分までは相手の
先行を許した。
しかし、時間がたつにつれGK
の好捕から反撃のチャンスをつか
み早いパスワークからブロック(パ
ラバン)シュートでポイント
を返した。
後半はいつそう調子があがり速
攻を連続、安定したゲームで観衆
を沸かせた。
幸いにも2勝をあげることがで
きたがオランダのリズミカルなロ
ーリングオフフェンスは鮮やかで日
本チームも是非身につけたいテク
ニックであった。(村田)
お詫び 本誌前号(73号)1頁
世界選手権速報のうち、9位決定
リーグにオランダが進出するよ
うに報じましたがアイスランドの
誤りでした。

イタリアにも大勝

ローマに移ったの遠征第15戦は3月14日イタリアナショナルと行った。(観衆三千)

イタリア

33 (1419 | 15) 13
イタリヤ

得00430120201
アラリノニトイニターオ
ア エドアーテター
リビエドアカクイノッ
タルラギンフルチノゲ
イ シアシラフスフレグデ
【シアシラフスフレグデ

GK FP

【田里田井田藤野 中森藤名
日本 東
【本下飯中野近木 藤近斎江
得001322354270
▼その他の出場者 FP早川 (得
4)、竹野 (得0)

【後記】イタリアのハンドボールはまだ歴史が浅い。4年前からはじめ競技人口は二〜三千。イタリア中央部を中心に有力クラブは15だそう。学校体育として普及の途上である。

ナショナルチームは24才以下の新進が主力。会場はローマオリンピックでバスケットボールに使用された体育館。36M×19Mとコートがせまい上に暗い。
イタリア協会の計画ではあと5

荒つばいイスラエル

遠征第16戦は9年ぶりにイスラエルを訪問、3月16日テルアビブでイスラエルナショナルと行った。(観衆二千)

イスラエル

10 (5 | 7) 10
イスラエル

得000400132000
【ラエニルラバムルイム
ル エニルラバムルイム
ラニ シビエーオ
【イダセモマテエヒアアネヴ
【イダセモマテエヒアアネヴ

GK FP

【里田森田野 名藤田井川藤
日本 東
【本下近野木 江近飯中早齋
得00103000510000
▼その他の出場者 【イスラエル】
F Pヤコブ (得0) 【日本】 F P
藤中、竹野 (いずれも得0)

【後記】審判の判定が全く公正を欠いて後味の悪い試合だった。
10位日本に一矢をむくいようと

遠征最終戦圧勝で飾る

遠征第17戦(最終戦)は3月18日セタル・ジョーサでイスラエルナショナルとの2回戦として行われた(観衆千五百)

日本 17 (134 | 4) 6
イスラエル

得0021010001010
【ラエニルラバムルイム
ル エニルラバムルイム
ラニ シビエーオ
【イダセモマテエヒアアネヴ
【イダセモマテエヒアアネヴ

GK FP

【田里野藤藤森 田川井名田
日本 東
【本下木齋近野 早野中江飯
得006104022011
▼その他の出場者 F P藤中、竹野
(いずれも得0)

【後記】相手の手の内、審判の進行ぶりなど判っているはずだったが前半はまたしてもイスラエルのペースへ乗せられた。しかし後半は相手の攻撃ミスとパス・カットでセメント製だ。国内選手権は地的に行うよう前向き姿勢でありやがては悔いがたい存在となる国際公認審判員が6名いるのも特筆される。一部に伝えられるアジア地区への転籍は日本、韓国などとの距離や経済的事情などで今のところ考えられてはいない感じである。

7人制に一本化されたのは10年前のこと。協会組織ができて15年しかならぬが現在全国男子二百クラブ四千、女子二〇〇クラブ四百人が登録されている。18才以下は未登録だが約四千五百人の競技者がいるという。
公式の広さをもつコートはすべ

台湾で模範試合

全日本チームは3月22日午後、タイペイに立ちより模範試合(紅白戦と練習)を公開した。台湾(中国)協会主催によるもので盛況だった。詳報次号。

会場はテルアビブからバスで6時間の農村都市。試合前に雨が降りセメントコートが水びたしになるというなかでの最終戦だった。世界選手権をふくめると6ヶ国を転戦、11ヶ国と対戦したわけだがそれぞれタイプがまったく違う相手だった。いずれの試合でも日本のたくましさをかき戻すことができなかったのは収穫である。(村田)

【ハンドボール】
ハンドボール

ハンドボール

方リーグの首位が12チーム集って争われる。
ヨーロッパ各国との交流を積極

【村田弘】

どうなる オリンピック出場

～日本の推せん確定の報も～

国際ハンドボール連盟（IHF）は3月7日夜、パリで技術委員会を開いた。

世界選手権の技術的な諸問題というのが議題といわれたが、明きらかに「オリンピック出場に関する予備会議」（村田全日本監督の話）で、田村団長（日本協会々長）村田監督らの得た情報によると大要次のような申し合せを行った模様である。

一、ミュンヘン・オリンピックのハンドボールは男子16ヶ国で実施
一、公約どおり、今回の世界選手権上位8ヶ国（ルーマニア、東ドイツ、ユーゴ、デンマーク、西ドイツ、スウェーデン、チェ

コ、ハンガリー）に出場権を与える。
一、残りの8ヶ国のワクは予選を行って決める。

イ、日本をアジア地域代表として推せん
ロ、アメリカ、カナダ、アイスランドの3ヶ国で予選を行い勝者に出場権を与える。

ハ、残りの6ヶ国のワクはヨーロッパ・アフリカ地域で予選を行う。

16ヶ国なら出場確実

これらの案は8月ストックホルムにIHF技術委員会を招集して確認、その場で『原案』として成文化し、さらに9月プラハで開催される第13回IHF総会にかけて承認へもっていく意向のようだ。

田村会長は「パリでの申し合せが修正されることは考えられまい」と語っており、日本の推せん出場は確定的とみてよい。

しかし、3月31日現在、IHFは上位8ヶ国に対する出場権をも含めて、なにひとつオリンピックに関する発表を行っていない。

それというのも、いまだに肝心のミュンヘンにおけるハンドボール競技が何ヶ国で実施されるか明らかになされていないためだ。

本誌でも再三伝えられているように、今のところ「男子16ヶ国」が有力だが、ブランドーシ国際オ

リンピック委員会（IOC）会長の提唱する「球技8ヶ国案」がカゲをひそめたわけではない。

それがミュンヘンから適用されるのかどうかは5月アムステルダムで開かれる第69回IOC総会で最終決定されるが、それまではIHFとしてもうかつな発表はできないのである。

日本の出場確定的というのでも「16ヶ国で行えば」の大前提が必要なのだ。

横たわる国内外の課題

『朗報』を手ばなしで喜べぬ課題は他にもある。

どちらかといえば今回の選手権出場国を有利に取り扱った前記の案を他の加盟国が無条件にのむか（写真）日本―チェコ戦。日本の攻守は欧州関係者の目を見はらせた

どうか。

今大会の前にも「予選方法が地域を無視した」とモロッコが強硬に抗議、ポーランドとの予選を棄権したような事態（本誌70号参照）が起きておりいつそう懸念される。

日本の推せん根拠が「アジア」にあるのか「10位」におかれたのかも詳らかではない。

「10位」ならば問題はなからうが「アジア」であった場合、韓国との関連、イスラエルら西アジア地区諸国の動向が注目されよう。

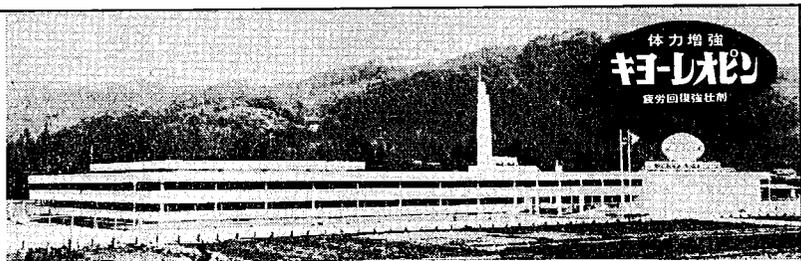
田村会長ははつきり「10位」が認められてのこと」といっている。

日本国内のミュンヘンへの態勢も現時点では明きらかにされていない。



近代化を誇る
湧永薬品広島工業

湧永薬品工業
株式会社



本社／大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店／東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店／横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場／広島・和歌山

「全自衛隊連盟」が正式に発足 会長・森川氏 理事・富永氏

かねてから結成の準備を進めていた全自衛隊ハンドボール連盟が4月1日正式に発足することになり、その役員などが発表された。

それによると、会長には元自衛隊体育学校長でハンドボールに深い理解を示しつつづけられていた森川竹雄陸将補を推したい。初代理事長には、自衛隊勝田(茨城)のプレイングマネジャーとして自衛隊球界の発展に功績のあった富永勲氏(とみなが・たかし、一尉・勝田施設学校教育、日大出、現全日本実連理事、34才)が決まった。

近く、日本協会へ加盟団体としての正式手続きをとるが、自衛隊の行っているスポーツで、全自衛隊連盟組織ができるのはハンドボールが初めてのことであり、内外から多くの注目が集まっている。

自分のあいだ同連盟の主事業は日本協会との共催による「全自衛隊大会」で、今年は第2回大会として6月20、21、22の3日間、東京駒沢球技場で開かれる予定。

○……役員……○

▽会長 森川竹雄(陸将補、陸上富士学校副校長)▽副会長 千葉磨(陸将補、勝田施設学校長)、平野晃(空将補、百里第七航空団司令)、小西十郎(二等海佐、宇都宮教育航空群司令)▽理事長、富永勲▽副理事長、岡田守三郎(海上・宇都宮教育航空群)▽理事

箭内正明(陸上・仙台)、熊原頭

一(海上・下総)、椋庭和夫(航空・百里)、芦刈義人(陸上・船岡)、白坂義弘(海上・鹿屋)、堀井正洋(海上・宇都宮)、平池純逸(陸上・勝田)、藤原幸介(陸上・久里浜)▽監事、森岡浩一(海上・下総第4航空群)、石橋昭一(海上・宇都宮教育航空群)

昨年6月駒沢で第1回全自衛隊選抜大会を「インスタント」に開いたのをキッカケとしてわずか10ヶ月で自衛隊スポーツでは初めての全国的な競技連盟が誕生したのは隊内関係者の情熱に負うところが大きい。

自衛隊の球技としては10年前から全自衛隊大会を行っているラグビーやサッカー、それにバスケットボールなどがあるが、今回のハンドボールのような組織はまだない。最近までは全日本実連の一専門部となるかに伝えられていたが一気に独立、日本協会五つ目の加盟団体としてうぶ声をあげた。

日本協会でも自衛隊への普及には大乗り気で、今年1月、田村会長、荒川理事長が防衛庁、陸幕などを訪れたばかり。正式加盟は次の全国評議員会(開催期未定)となるが、学連、高体連、実連、教職連とはいささか「体質」を異としていただけに今後も日本協会

の支援は必要であろう。

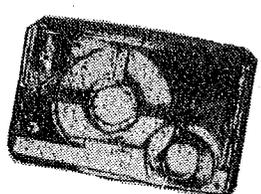
の支援は必要であろう。

の支援は必要であろう。

の支援は必要であろう。

プラスチックの総合メーカー

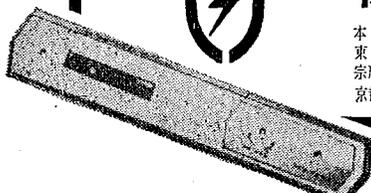
メッキは金属だけでは……
……ありません!




精密金型設計・製作
マイクロプラスチック成型
プラスチックメッキ

株式会社 宗形製作所

本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻 (0726) 75-5551
東北本社	福島県福島市清水町字中谷地48番地	TEL 福島 (02452) 3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻 (0726) 75-5767~8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都 (075) 68-9701

昭和45年度登録要領を發表(5月31日×切り)

日本協会で、このほど昭和45年度(45年4月1日×46年3月31日)日本協会の登録要領を發表した。

それによると、本誌でも再三伝えられているようにチーム登録料が別表のように値上げとなつたほか、都道府県協会登録料は「登録数11チーム以上、一万円(現行)」と「同10チーム以下・五千元(新設)」の二本建てが初めて採られる。

手続き面ではほとんど例年に変わりはないが、機関誌送付の正確を期すため用紙の一部が改正された。

日本協会へ登録するチームは各都道府県協会へ所定期日まで登録用紙3部(様式A11部様式B112部)を提出、各都道

府県協会は協会長印を捺した様式Aを一括して5月31日までに規定の納入金を添えて日本協会(東京都渋谷区神南一丁目1の1、郵便番号一五〇)へ届出ることになっている。

登録ノ切日をすぎたあとの受けつけは一切認められないが、新設チームはこの限りではない。また一般の個人追加登録は6月1日以降も認められるが、一人につき500円の追加料がある。

国体出場資格も明確に
また、国体(注・今年度は10月10日×15日・盛岡市)の登録については、高校男女は例年どおり「県選抜」「混成」が認められるが各種別とも今年も11名に特別規制される。競技規則どおり12名とした場合、現行の5種別72チームを5種別66チームに減らさなければならぬための措置だ。このほかこれまで明確さを欠き混乱を招いていた「出場資格」のうち、前年度県予選に参加した者は、たとえ地域予選・本大会へ出場できなかった場合でも今年度はその県以外からの出場を認めないことが明きらかにされた(ただし、新卒者を除く)。

なお、体協国体委の決定により高校実習助手は教員として出場が認められる。

自衛隊チームは全国自衛隊選抜大会(6月20×22日・駒沢)への出場は日本協会未登録でもよいが、全日本・国体などには一般チームとしての正規の登録が必要である。

45年度登録金(円)

種別	基本金	オリンピック基金(年11回分)	機関誌	その他	計
一般	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	人員×一〇〇 三、三〇〇プラス (人員×一〇〇)	
大学	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	なし	三、三〇〇
高校	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	なし	二、三〇〇

岐阜、神戸、大阪で3試合

全日本男子の帰国報告試合

日本協会は第2回全日本国内サーキットとして、世界選手権に出場の全日本男子帰国報告会を兼ね

次の3試合を行うと發表した。

▽第1戦(3月30日・月・18時、岐阜県営体育館) 対全岐阜

▽第2戦(4月1日・水・18時、神戸中央体育館) 対全兵庫

▽第3戦(4月2日・木・18時、大阪中央体育館) 対全大阪

全日本男子は田村团长、村田監督ら代表16人が全員参加する。

望みうすの国際試合(今秋)

日本協会でことし9月4日から24日の21日間(8試合)に予定していた国際試合の計画を白紙にもどすことに内定。ヨーロッパチーム(男子の一流国ナショナルチーム)の今秋の来日はかなり難しくなったようである。

42年9月以来とだえていた国内における国際試合の開催については、昨年10月の全国評議員会(長崎)で承認され、西ドイツを第一候補に折しようしていたが、同協会がナショナルチームの編成が難しいとしたため断念、第二候補にあげていたルーマニアは来年以降デンマークも47年に来日の意向があると伝えられて正式な交渉の前にあきらめた。

しかし、オリンピックに備えて是非とも今秋ヨーロッパチームを招くべきだという声が強く、世界選手権出場の田村会長(团长)と村田選手強化対策委員長(監督)に、直接各国関係者と話し合いすることを一任した。

両氏は滞欧中「今大会のベストエイト」を基準に各国へ打診したが、いずれも世界選手権参加のために今年の予算を使い果たし来日不可能なことが判った。

日本協会では、女子または二、三の有力クラブチームになお望みをかけているが、3年ぶりの国際試合実現は残念ながら御破算の公算が強い。

国際試合開催の準備を進めていた県協会は東京、神奈川、愛知、三重、京都、大阪、福岡、熊本で近く全8試合の受け入れが確定するところだった。

日本協会では、4月6日の月例常務理事会で、この問題を協議することにしている。

三菱鉛筆、廃部決まる

女子実業団の最上位にある三菱鉛筆(神奈川)ハンドボール部は会社側の事情で3月31日付をもって廃部されることに決まった。

「社内の体質強化をすすめるため」というのがその理由だが、昭和40年4月部結成以来、シーズン毎に実力を引きあげ、技心ともに国内女子の代表的チームとして活躍をつづけていただけに今回の廃部を惜しむ声強い。

来月、全日本審判員研修開く

昭和45年度全日本審判員研修会は5月25、26日の2日間の東京代々木の日本青年総合センターを中心に行われる。

今年度に予定される八つの全国大会(国体を含む)の審判を担当する約百名が受講する。

各地の記録

中京ク、常盤工業降し優勝

女子は田村紡の6連勝

第9回東海室内選手権は2月22日名古屋の愛知県体育館に東海4県の予選勝者男女8チームが参加してトーナメントで争われた。

男子は、1回戦でクラブ同士、実業団同士が対戦、中京ク(愛知)常盤工業(岐阜)の決勝となったが中京クが前半巧く自分のペースで試合運び、後半、常盤の追撃を振り切り優勝。(2年ぶり3度目)。

女子は、大洋紡(岐阜)、プラザ工業(愛知)が田村紡(三重)に善戦したが、田村紡の地方が優り6連勝を飾った。田村紡はこれで3シーズン連続東海3タイトル(東海・東海実業団・東海室内)を独占。

▽男子準決勝(11回戦)
常盤工業 21(1011)7 14 本田技研(岐阜)
中京ク 20(713)6 13 清見濁ク(愛知)

▽同決勝
中京ク 17(8)105 15 常盤工業
▽女子準決勝(11回戦)
プラザ工業(愛) 18(108)4 6 城北ク知
田村紡 11(4)6 9 大洋紡(三重)

▽同決勝
田村紡 11(5)6 2 5 工業

男子枚方、女子は大谷高勝つ

▽大阪府高校新人大会(2月・大阪)

▽男子準々決勝
枚方 12-8 堺 工
寝屋川 13-10 茨 木
三国丘 7(分)7 都島 工
抽せんで三国丘高の勝ち
八尾 7-3 池田
▽同準決勝
枚方 7-3 寝屋川
三国丘 15-10 八尾
▽同決勝
枚方 12(7)5 9 三国丘

▽女子準々決勝
鶴見商 3(1)3 八尾
抽せんで鶴見商の勝ち
豊中 8-2 泉大津
住吉学園 10-2 初芝
大谷 15-3 枚方
▽同準決勝
豊中 6-4 鶴見商
大谷 11-3 住吉学園
▽同決勝
大谷 14(7)10 2 豊中

女子で小諸商強し
第9回長野県総合室内選手権(2月・佐久高体育館)
▽男子準々決勝
上田ク 26-11 小諸商

北農ク 19-11 本州大
長野教員 22-18 屋代高
北佐久農高 20-15 坂城高A
▽同準決勝
上田ク 15-8 北農ク
長野教員 16-10 北佐久農高

▽同決勝
上田ク 17(9)8 2 7 長野教員
▽女子準々決勝
小諸商高A 17-7 北佐久農A
小商ク 19-7 佐久高B
北佐久農B 22-2 上田城南高
小諸商高B 17-8 佐久高A
▽同準決勝
小諸商高A 20-6 小商ク
北佐久農B 10-4 小諸商B
▽同決勝
小諸商高 19(10)10 4 14 北佐久農A
A 高B

追手前-高知西男女で対決
▽高知県高校新人戦(2月・高知)
▽男子準々決勝
須崎工 12-6 中村
高知西 14-5 伊野商
高知工専 11-6 弘岡農
追手前 25-3 幡多農
▽同準決勝
高知西 11-6 須崎工
追手前 22-3 高知工専

▽同3位決定戦
高知工専 14-13 須崎工
▽同決勝
追手前 15(8)7 1 4 5 高知西

▽女子準々決勝(11回戦3試合)
佐川 7-10 伊野商
高岡 5(分)5 山田
抽せんで高岡高の勝ち
追手前 7-2 中村
▽同準決勝
高知西 17-1 佐川
追手前 6-3 高岡
▽同3位決定戦
佐川 9-4 高岡
▽同決勝
高知西 13(8)11 4 追手前

春季リーグ 関東学連 18日に開幕

関東学連は、このほど春季リーグの日程と今年度学生役員を決め発表した。
春季リーグは、例年より早い開幕となり4月18日から5月2日までの7日間に行われる。今季から専修大(東京)が新加盟、千葉大(千葉)が11年(22シーズン)ぶりに復帰する。このため男子は1、2、3部が各8校、4部が12校となる。女子は6校の予定。
【春季リーグ戦日程】4月18、20、22、25、28、29、5月2日(25日は駒沢第二球技場、それ以外は同第一球技場)

【新委員】▽委員長 谷秋勉(日体大)▽副委員長 神田順三(関東学院大) 中村芳則(中大)▽会計委員 野原文子(日体大)

・記・世界選手権がおわり、ベ
・後・スト・エイト入りは惜し
・集・くも果せませんでした
・編・世界に日本の実力を見せ
つけることができました。本誌に
もある通り、世界の球界は日本の
力の向上ぶりに眼をみはっていま
す。

本号では、世界選手権を記録を
主としてとりあげ、世界選手権特
集号の第一編として、みなさまに
お届けします。

これは、村田監督をはじめとする
選手団のみなさんが忙しいなか
を送ってくださった記録、後記が
中心になっていきます。今回の選手
団実にマメに読者のみなさんのた
めに貴重な記録を送ってくれまし
た。感謝します。

次号は世界選手権特集の第二編
として選手・コーチの皆さんの手
記などを中心にしたものを企画し
ています。

また団長であった田村会長の手
になる多くの写真で紙面を飾るつ
もりにもしてあります。単に文章だ
けでなく、眼で見ると世界のハンド
ボールを読者のみなさんにタツプ
リ見せていただけるように企画して
います。ミュンヘンをめざして新
な出発を今回の選手権を回顧する
ことからはじめそこから問題点を
日本のハンドボール界の全員が考
えてほしいと思います。

(T.S.F)



株式会社 三景



1970 · fashion

洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

大修館書店 東京・神田錦町3-24 TEL (291) 3961-8

写真と図
解による



ハンドボール

日本体育大学教授 荒川清美 / 大阪体育大学助教授 石井喜八共著
日本ハンドボール協会理事 専長

本書は、ハンドボール競技をなによりも愛し、それゆえに、この競技の普及・向上のために骨身を惜しまない努力をかたむけている著者の、競技を愛する心と情熱によって生みだされたものです。また、本書に用いられている写真は、その豊富さと、俯瞰による独特の撮影技術によって類書にはみられない特色をもっています。

〈内容〉第1章「競技の概説と歴史」第2章「個人技術」第3章「集団技術」第4章「ハンドボールの科学的基礎」
〔付録〕「ハンドボールの審判」「ハンドボール競技規則」「日本におけるハンドボール競技に関する研究小史」 A5判 400

●スポーツ・Vコースシリーズ

バレーボール教室

豊田博・島津大宣共著
A5判・定価五四〇円
初心者からオリンピック、世界選手権参加の選手をも対象として、系統的なバレーボール練習法をまとめた世界に類のない教科書。

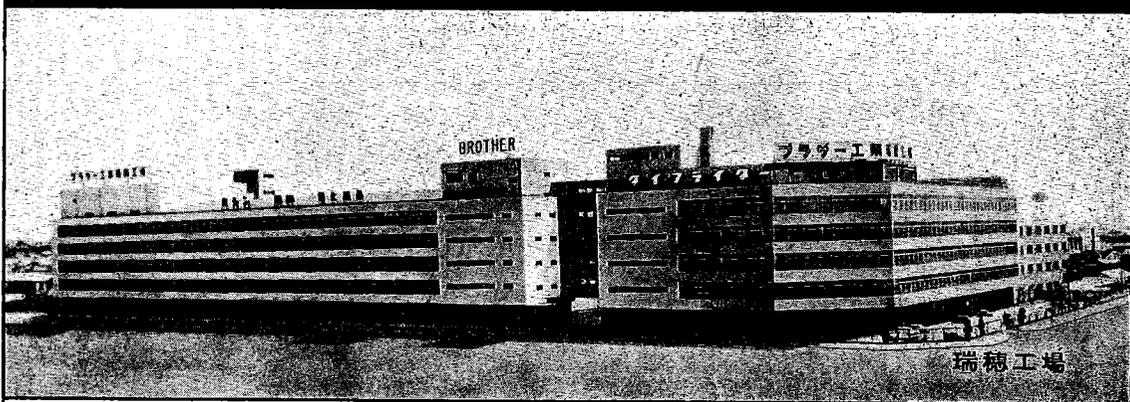
からだづくり教室

窪田 登著
A5判・定価三六〇円
からだづくりトレーニングは計画的・段階的に行なわれるべきで、本書は「教程」方式で具体的にトレーニングを進める。

水泳教室

波多野 勲著
A5判・定価三四〇円
小学生より社会人、カナヅチから選手まで、図と写真にみちびかれながら楽しく学べる教程方式の水泳教室。

「ミシンメーカー」から 「各種機器の総合メーカー」へ



ブラザーはミシンの技術を母胎に新製品の開発に努め、多角化を進めてまいりました。現在ブラザーには、ミシン、編機、事務機、家庭電器、工作機、楽器の6つの部門がありますが、いずれもその優れた品質で、世界の市場をリードしております。ブラザーはこの成果に甘んじることなく、さらに自社技術の開発と取り組み、各種機器の総合メーカーとして一段と飛躍すべく胎動を始めております。

BROTHER ブラザー



ブラザー工業株式会社
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35
TEL(811)2511 大代表